

## J-PARC SuperHRPD の現状報告 Status report of J-PARC BL08 SuperHRPD

鳥居周輝<sup>1\*</sup>, 米村雅雄<sup>1</sup>, 富安亮子<sup>1</sup>, Teguh Panca Putra<sup>1</sup>,  
Junrong Zhang<sup>1</sup>,  
Miao Ping<sup>1</sup>, 室屋孝司<sup>1</sup>, 神山崇<sup>1</sup>, 野田幸男<sup>2</sup>  
高エネルギー加速器研究機構<sup>1</sup>,  
東北大学<sup>2</sup>

J-PARC 粉末中性子回折装置 SuperHRPD は、2009 年夏の長期シャットダウン時期に真空散乱槽の大規模な入れ替え作業を行い、同年 10 月のビームタイムより、新しい真空槽での測定を開始した。新しい真空槽では、 $S/N$  比の向上、一層の高分解能化、立体角増大、 $Q$  範囲増大、偏極モードや高強度モード導入等を目指しており、現在、各種調整運転と共用運転を並行して行っている。また、DAQ システムに関しては、NeuNET を用いた新システムが導入され、イベントデータを使ったより高度なデータ解析を行える環境が整った。

本報告では、新しい散乱槽の紹介を中心に、その後のコミッショニング状況・解析ソフトの現状報告等を行う。